

「連絡帳」記述文の ICF による分類

— ICF を活用した連携の可能性を探る —

○ 下尾 直子

(日本女子大学大学院)

KEY WORDS : ICF 連絡帳 保護者との連携

【目的】特別支援教育における、保護者と学校の連携の重要性については、もはや議論の余地もない。しかし、その方法については、特に有効な手段のないまま、主に担任の資質や努力に任されているのが現状である。

坂本・西・緒方(2002)の調査では、特殊学級担任・保護者のどちらも、「個別面談・家庭訪問・保護者会・学級通信・連絡帳・電話・送迎時の会話」の選択肢の中で連絡帳の有効性を最も高く認めており、現段階で連絡帳を超える連携の手段が見出されていないことが示されている。

しかし、通常、連絡帳は手紙文の形式で記述されることが多く、その使用は日常のやり取りに終始し、記述された膨大な情報は整理されないまま担任と保護者の記憶の中のみとどまることが多い。

そこで、本研究は、連絡帳に書かれた情報をより有効に活用するための方法を探るため、障がいに関する国際的な分類指標である「ICF(国際生活機能分類)」(障害者福祉研究会, 2002)による情報の分類整理を試みた。ICFは、生命・生活・人生の全ステージを包括的に網羅した分類であると言われ、学校と家庭という異なる場面での子どもの状態を同じ指標で把握することができると考えた。ICFを使った分類によって、連絡帳に書かれた情報が整理できれば、現在最も活用されている連絡帳という連携手段がより活かされ、ICFという共通言語を使って医療・福祉などの他分野にも連携の輪が有機的に広がることが期待できるだろう。

【方法】個別支援学級・特別支援学校で使用された連絡帳を保護者を通して入手した。一冊の連絡帳について、最初の5日分と最後の5日分を取り出した。保護者と教師の記録それぞれについて、文章を意味ごとにカテゴリー化したのち、ICFの項目で分類し、可能な限り評価点を付記した。なお、記述文をICFのコードと評価点で表記する方法は、先進国のICF活用法の主流となっており、わが国においてもICFの活用法として認知されつつある。

【結果】対象となった連絡帳は、異なる18組の保護者と教師によってやり取りされた18冊、計180日分(のべ360日分)の記述を、以下のように、分類した。

事例 小5(男子)保護者→担任

土曜日は珍しくずっとうちにいました。久しぶりに録画しておいたテレビ番組「みんなの鉄道」を見たり、お父さんと体操をしたりしました。はじめてした腹筋は、両手をちゃんと頭の後ろにしてがんばってなんとか10回続けましたが、

前にもしたことがある腹立て伏せは、いまだにイメージがつかみにくいようでした。



(参加) p920 レクリエーションとレジャー

趣味(趣味番組の視聴) p9204.1

スポーツ(体操) p9201.3

(活動) a1550 基本的な技能の習得

腹筋: a1550.0 腕立て: a1550.4

(心身機能) 自己身体像 b1801.3

(環境) 家族の支援・態度 e310.+4 e410.+4

【考察】ICFによって、連絡帳記述の分類を試みた結果、どの連絡帳も共通して、「参加」に分類される記述が多く、「参加」を説明する記述として「環境」や「心身機能」「活動」が語られていることがわかった。

さらに、上田(2005)がその概念の導入を提言している「主観」や、ICFでは現段階で項目の分類がされていない「個人因子」に分類される記述が無視できない数にのぼることが指摘できる。また、「主観」については、本人の主観に関する記述より、環境因子である保護者や教師自身の主観が多く語られていることに注目したい。これによって、記述者の主観によって語られることと、客観的な本人の生活機能とを意識的に差別化することの必要性を示唆できる。

ICFによる分類は、子どもの生活の様子を「参加」「活動」「心身機能」「環境」に分けることで、支援の必要な面を明確にできると評価できる。しかし、1400以上ある膨大な項目数の中から該当の項目を引き出す作業は容易ではなく、評価点の判定に関しては、迷うところも多かった。

【引用・参考文献】

坂本裕・西正道・緒方明(2002)「小学校知的障害特殊学級における保護者と学級担任の連携について」、『岐阜大学教育学部治療教育研究紀要』24, 27-31.

障害者福祉研究会(2002)『ICF国際生活機能分類』, 中央法規.

国立特殊教育総合研究所(2005)『ICF活用の試み』, ジェアース教育新社.

厚生労働省大臣官房統計情報部(2007)『生活機能分類の活用に向けて(案)』

上田敏(2005)『ICFの理解と活用』, 萌文社

http://www.icfconference.com/prog_pres.html

(Naoko SHIM00)